

平成 13 年 10 月 15 日

IPv6 による次世代インターネット普及促進に向けた事業を始動
～ IPv6 普及・高度化推進協議会の第三回総会を開催～

IPv6 普及・高度化推進協議会
会長 村井 純（慶應義塾大学教授）

概要

IPv6 普及・高度化推進協議会（会長：慶應義塾大学 村井 純 教授、事務局 株式会社三菱総合研究所・三井情報開発株式会社総合研究所）は、平成 13 年 10 月 15 日に東京全日空ホテルにて、企業約 120 社を集めて第三回総会を開催し、IPv6 による次世代インターネットの普及促進のための具体的な活動を開始しました。

本協議会は、通信・放送機構や総務省と連携して情報家電の IPv6 化に関する実証実験を推進するとともに、IPv6 への移行期におけるアドレス管理の在り方の検討、IPv4 アドレスの枯渇状況や IPv6 アドレスへのニーズなどの調査研究、イベントへの出展やショールームの設置・運営など、IPv6 普及促進を目的とした諸事業を今後展開いたします。その成果は、12 月中旬に予定されているイベント「ネット・ライフリウム」(<http://www.key3media.co.jp/Net-Life/>) や平成 14 年 3 月に開催を予定しているイベント、また協議会の web ページ(<http://www.v6pc.jp/>)にて、一般に広く公開する予定です。なお、新規の会員についても、幅広い業種の方々を対象に、随時受け付けています。

IPv6 の必然性

IP は、インターネットで使用されている基礎的なプロトコルです。現在利用されている IPv4（IP バージョン 4）のアドレスは、爆発的なインターネットの普及に伴って数年以内には枯渇することが予測されており、アドレス空間の拡張や様々な機能の強化が図られた IPv6 への早急な移行が急務となっています。

IPv6 による次世代インターネットは、通信と放送のネットワークを融合し、より魅力的で快適な生活サービスや企業活動を支えるための高度情報通信ネットワーク社会基盤の形成を促すものと期待されます。また、平成 13 年 3 月に策定された「e-Japan 推進計画」では、「2005 年(平成 17 年)までにすべての国民が、場所を問わず、自分の望む情報の入手・処理・発信を安全・迅速・簡単に行える IPv6 が実装されたインターネット環境を実現する」とされており、IPv6 の普及推進は国家的な方針となっています。

IPv6 普及・高度化推進協議会について

慶應義塾大学村井純教授を会長に、郵政省（当時、現総務省）をオブザーバに迎え、平成 12 年 10 月に設立。IPv6 による次世代インターネットの普及推進を目的とする。平成 13 年 10 月に第三回総会の開催にあたり新規の会員募集を行い、組織および事業の拡充を行った。会員 113 社・個人（平成 13 年 10 月 10 日現在）。事務局は株式会社三菱総合研究所並びに三井情報開発株式会社総合研究所。

本件に関するお問い合わせ先

IPv6 普及・高度化推進協議会 事務局（担当：青木）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 サンケイビル 6F

Tel. 03-520-2483 Fax. 03-5205-2520 E-mail info@v6pc.jp <http://www.v6pc.jp/>

三井情報開発株式会社 総合研究所 経済社会研究センター（担当 河田、田中）

〒164-8721 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー21階

Tel. 03-5304-7202 Fax. 03-3375-4223 E-mail kawada-h@hq.mki.co.jp

株式会社 三菱総合研究所

E-ガバメント研究センター デジタルシティ研究チーム（担当：中村、橋本）

〒100-8141 東京都千代田区大手町 2-3-6

Tel. 03-3277-0733 Fax. 03-3277-3476 E-mail gaku@mri.co.jp